

平成21年3月9日（月）

○議長（中上良隆君） 順番7、14番 土井君。

〔14番（土井裕美子君）登壇〕

○14番（土井裕美子君）ただ今、議長のお許しをいただきましたので、通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

皆さまお疲れのことと思います。今しばらくお付き合いを願いたいと思います。ちょっと私、花粉症でして、お聞き苦しいこともあるかと思いますが、その点ご了承くださいますようによろしくお願いいたします。

今回の私の質問は、地域活性化の具体的な方策についてでございます。この質問は、もう既に何人もの同僚議員がいろいろな観点から質問をされていますが、アメリカのサブプライムローン問題に始まり、100年に一度と言われる世界的大不況に突入し、日本経済もそのあおりを受け、惨たんたる状況です。この橋本市にも、確実にその波は押し寄せつつある今、何とかこの状況を打破し、元気あふれる橋本市にしたいという思いから質問をさせていただきます。

市長は就任以来、橋本の未来は企業誘致しないと、積極的に企業誘致に取り組み、市長自らトップセールスマンとして、東京や大阪など数多くの企業に足を運ばれ、その結果、現在ホテルを含め9社の企業を誘致されました。そして、長年の橋本市の夢でもありましたホテルの建設も順調に進み、今年12月末にはオープンの予定というふうにお聞きをしております。

しかしながら、先ほども申し上げましたとおり、世界的不況は我が橋本市にまで押し寄せつつあるのが現状でございます。このような状況の中、企業誘致だけでなく、現在市が保有する施設の有効活用や橋本ブランドの構

築など、行政はできうる限りの知恵を使い、低迷している経済を打破するような発想を打ち出し、そして、その行動力を具体的に示さなければ、橋本市の活性化はなし遂げられないと考えます。「和歌山県の橋本市ここにあり」というように、全国に向け、積極的に橋本市をアピールしていくようなことも一つの方法と考えます。

そこで、何点か質問をさせていただきます。

①地域活性化に向けて、現在、市が取り組まれている事業を具体的に、その進捗状況も含めてお教えてください。

②市が保有する施設（運動公園、市民会館など）を有効に活用することも、地域活性化につながると考えますが、その活用状況と今後の問題点、また、改善の手法があれば当局のお考えをお聞かせください。

私の1回目の質問を終わらせていただきます。

○議長（中上良隆君） 14番 土井君の一般質問に対する答弁を求めます。

企画部長。

〔企画部長（吉田長司君）登壇〕

○企画部長（吉田長司君） 地域活性化のご質問にお答えいたします。

地域活性化に向けて、現在、市が取り組んでおります代表的なものとしまして、平成19年度からスタートさせております、頑張る地方応援プログラムがございます。地域の特色を生かした独自のプロジェクトを策定し、具体的な成果目標を掲げており、プロジェクトの内容を市のホームページでも公表しているところです。

プログラムの内容は5つのプロジェクトで、企業誘致を中心とした「橋本市元気なまちづ

くりプロジェクト」、子育て支援事業を中心とした「橋本市子ども・子育てのびのび夢プロジェクト」、やどり青少年旅行村の建て替えを中心とした「橋本市観光振興・交流プロジェクト」、防災対策事業を中心とした「橋本市安全・安心まちづくりプロジェクト」、生ごみのたい肥化を中心とした「花と緑のリサイクル事業」から成っております。だれもが住み続けたいような魅力ある地域を形成し、定住する人を増やし、地域の活力を有する方策を確立することが市政の重要課題であるため、これらのプロジェクトを効果的に実施することにより、地域活性化を図り、元気なまち橋本市の創出に積極的に取り組んでまいります。

○議長（中上良隆君）総務部長。

〔総務部長（中山哲次君）登壇〕

○総務部長（中山哲次君） それでは次に、橋本市民会館についてお答えいたします。

市民会館は昭和43年5月に完成し、当初は橋本市において管理運営を行ってまいりましたが、平成18年度に指定管理者制度を導入してから、財団法人橋本市文化スポーツ振興公社に当該業務を委託している状況にあります。

活用状況についてであります。当施設の設定目的である、市民の文化教養の向上と福祉の増進を図るための施設として、その目的達成のため会館独自の興行を行う場合は、各種補助金、助成金の活用を行うことにより、できるだけ価格設定を低くし、あらゆる世代の人々を対象に、すぐれた文化芸術作品を提供する機会の拡大を図っているところでございます。

その実績といたしましては、ニューイヤーコンサートや有名ピアニストによるピアノリサイタル、有名落語家による落語独演会など、文化振興のための興行を行ってまいりました。また、地域活性化のため、地域の各種団体やサークルの自主的文化活動を支援するとともに、

これからの文化芸術の担い手となる子どもや青少年に対する活動支援として、平成20年1月には、関西フィルハーモニーを招いての楽器クリニックの開催や、子ども狂言教室を開催するなど、地域の文化芸術のサポートも行いながら、学習や研修の場としての施設運営もあわせて行っております。

今後の問題点といたしましては、施設の老朽化といった問題や、高価な備品の有効活用といった問題等が上げられます。施設の老朽化については、平成21年度において耐震診断を実施し、今後の施設の維持管理の方向性を検討すべく、当初予算にその予算を計上させていただきます。また、当施設にはスタインウェイピアノを設置しておりますが、その利用頻度が低いことから、有効利用を図るための対策として、平成21年度から音楽関係者で専門的に勉強をしている人や、今後、勉強しようとしている人達にその練習の場を提供するため、当該ピアノを使用してピアノ練習を定期的に催すよう、現在、文化スポーツ振興公社と協議しているところであります。

今後は現状の課題を踏まえ、自主事業公演の充実を図り、運用利益の獲得と経費の削減に努めてまいりたいと思っておりますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

○議長（中上良隆君）経済部長。

〔経済部長（山本重男君）登壇〕

○経済部長（山本重男君） 議員おただしの、地域活性化に向けて取り組んでいる主な事業であります。平成19年度に北宿で龍神温泉に負けない良質なナトリウム塩化物温泉が湧出いたしました。この良質な温泉を観光誘客資源とし、橋本市の奥座敷、県立自然公園内という恵まれた自然環境を生かし、利用者にいやしていただける施設の整備を、まちづくり交付金事業により、やどり青少年旅行村の建て替え事業に取り組んでおります。この基

本計画作成のために、周辺関係施設の現地視察を20件近く行い、地元指定管理者、設計事務所と協議を繰り返し、さらに和歌山大学観光学部の教授、学生と施設面や今後の運営面等について意見交換会も行い、事業の推進に努めております。

また、平成17年度から、高野口駅前周辺のまちづくり交付金事業のソフト事業として取り組みをされておりました高野口フィルムコミッション部会が、今年度高野口まちづくり協議会が中心となり、橋本フィルムコミッションを設立されました。事務局を高野口町商工会に置き、ホームページを作成し、映画、テレビ等の撮影の協力、撮影に役立つようなロケーション情報等が発信されております。今後、映画やテレビドラマなどのロケーション撮影を誘致し、橋本市の歴史ある街並みや豊かな自然のPRを行い、まちづくり活動の活性化につながるよう、橋本フィルムコミッションと連携を密にして、協力してまいりたいと考えております。

次に、観光事業といたしましては、本市の玄関口となる橋本駅前に観光案内所を移転し、広域的な観光案内はもとより、橋本市産品等の販売及びPRに取り組み、橋本ブランドの確立ができるよう、商工会議所、商工会と連携を図ってまいりたいと考えております。また、観光協会の今年度の取り組みといたしまして、観光ガイドの養成講座を実施し、駅前の観光案内所を拠点とした観光客へのガイド案内事業に取り組み、本市への誘客に努めてまいりたいと考えております。

○議長（中上良隆君）教育次長。

〔教育次長（西本健一君）登壇〕

○教育次長（西本健一君）都市公園として活用されています運動公園、橋本市運動公園の多目的グラウンドについてお答えさせていただきます。

多目的グラウンドは、平成9年の供用開始以来、多くの市民のスポーツの振興と健康増進に寄与しています。多目的グラウンドの利用状況でございますが、平成19年度は利用件数218件、利用者数11万3,532人、利用料金は134万8,000円でありました。平成20年度も同様な状態で推移しております。

議員ご指摘のとおり、地域活性化につながるよう有効に活用し、今後、より多くの市民の皆さまにご利用いただけますよう努めてまいります。

○議長（中上良隆君）14番 土井君、再質問ありますか。

14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ありがとうございます。

午前中にも同僚議員のほうから、いろんな質問がございましたので、その中のご答弁の中にも、活性化に向けての取り組みも若干入ってございましたので、できるだけピックアップをして、わからない点を聞いていきたいと思っております。

まず、平成17年度から高野口まちづくり協議会を立ち上げられて、これは多分、まちづくり交付金の事業だと思うんですけども、21年度までの5年間の交付金がおりてくるんですかね。そのソフト事業面を今年度設立されたと思うんですけども、橋本フィルムコミッションですか、ホームページも見せていただいて、確かに橋本市にはとてもいいところがたくさんあって、昔ながらの街並みも残っておりまして、活用できるなあと私自身も思っております。

で、経済建設委員会のほうで、これは富士吉田市のフィルムコミッション、今、大変成功されていて、どんどん東京のほうから映画会社が撮影に来ているということもお聞きしておりますので、いいことだと思うんですが、

まちづくり交付金がこの21年度で切れるということですので、今後、市としてはそちらの継続というか、その辺のところをどのようにお考えになっているのかというのをちょっとお聞きしたいんですが。

○議長（中上良隆君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）まちづくり交付金事業によりますフィルムコミッション事業につきましては、今ご質問のありましたとおり、平成17年から平成21年まででございます。まちづくり協議会のフィルムコミッション部会を立ち上げられまして、主な映画というんですか、ものにつきましては、非公開になりましたが、高野口町小学校や前田邸で、終戦60年記念事業として撮影されました「約束」というのがございました。それからまた、平成18年度にはNHKの朝ドラでございますが、芋たこなんきんというのがございます。それから、吉本興業のほうでも小学校を題材にしたテレビが放送されております。

それで平成20年度には、部会から橋本フィルムコミッションを立ち上げられました。橋本のまちを発信していこうと。橋本市を発信していこうということになっております。

議員おただしの、この交付金事業が平成21年度で終了いたします関係で、あとどうなるのよということでございますが、昨年、経済建設委員会が富士吉田市のほうに視察に、私も同行させていただきました。そこで、担当の方からいろいろ聞かせていただいたんですけども、富士吉田市のフィルムコミッションにつきましては、もともと映画やテレビのロケーションが盛んな地でございます、ちょっと橋本市とは異なるなというふうな印象を受けました。富士吉田市のほうでは、あまり誘致活動をしなくても映画会社のほうから来ていただける、そういうような土地柄でございました。橋本市とは随分違うなというふう

に記憶しております。橋本市の場合は、映画、それからテレビ関係に、相当誘致活動を行っていかなあかんということになってくると思っています。そういった点で、今後予算が大分必要になってくるといことになります。

そういうことで、議員ご承知のとおり、今現在、財政が厳しい状況でございますので、財政担当部局とそれから橋本フィルムコミッションとも協議しながら、22年度に向けまして検討していきたいというふうに考えております。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）17年度からまちづくり協議会のほうが取り組まれて、やっと今年度、最終年にフィルムコミッションを設立されたところですよ。ホームページも見せていただいたら、本当にすごくいいものができ上がっていますし、これは財政難やと言うたらそれでおしまいなんですけども、せっかくここまでこぎつけたといいますか、つくってきていただいたものですので、ぜひ、やっぱり継続をして、高野口町商工会のほうに任せきりにするのではなく、もう少し行政側としても協力体制というのをとっていくべきではないかなと思います。

確かに富士吉田市と比べましたら、富士吉田市というぐらいですから、たぶん富士山が、私は行ってませんのでわかりませんが、ばーんと見えて、もうそれだけで観光資源になって、映画撮りたいなという気分になるかもしれないけれども、私は出身が橋本市ではないので、橋本市に来させていただいたら、橋本市ってすごくいいところやな。歴史的な名勝もたくさんありますし、いいなのはすごく感じるんですね。自然にも恵まれておりますし。何と言っても南海電車に乗ったら、40分ぐらいで来られるわけでしょう。すると、都会の喧騒から離れて、電車1本で

来れるという、そういうロケーションも大変いいんじゃないかなと思いますし、紀の川というのも、すごく川の流れというかせせらぎというのも、マイナスイオンが出るというようにも聞いておりますし、そういうところをやっぱり活用されて、ぜひとも、せつかく今年度設立されましたので、何とか続けていけるようにご検討をいただきたいと思います。前向きなお答えでございましたので、何か部長、答弁ございましたら。

○議長（中上良隆君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）観光の関係で、今年の7月から、南海電車が橋本駅を始発いたしました観光列車を運行いたします。それから、この機会を逃すんじゃないに、それを最大限活用したものにしていきたいというふうに考えております。その中で、やっぱりフィルムコミッションというのも大切な役割をしていくのかなと思っております。メディアを使った発信というのは確かに効果がございますので、各関係機関と協議しながら検討していきたいと思います。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ありがとうございます。ぜひ、そのようにやっていっていただけたらと思います。

続いて、やどりの温泉、旅行村なんですけれども、これは11番議員のご質問の中でも出ておりましたし、視察もいろいろ行って、二十数件近く行っていただいて、これから前向きに取り組んでいくということでもございましたので、ちょっとここで紹介をさせていただきたいんですけども、昨年11月に政経セミナーという勉強会に行つてまいりまして、その中で、すごく私が、わあ、いいなと思った取り組みをしている村がございました。高知県の馬路村というところなんですけれども、同僚議員も何人かご一緒させていただいて、会派

でも行っておりますので、皆さん、ああ、あれやなというふうにならずにいただいていると思うんですけども、高知県の東部にあって、そこは総面積が165.52km²、森林率96%、ほとんど森林なんだそうです。人口が1,074人で、国道もない、鉄道もない、信号もない、高校もない、学習塾もない、コンビニもないという村なんですけれども、全国的に有名なんですよ。

というのが、ユズをつくっているらしいんですけども、そのユズで「ごっくん馬路村」というユズのジュースがございまして、そのジュースがなんとメディアを通じて、芸能人がそのジュースを飲んでおいしいと一言言ったわけですね。それでもう大ブレイクをして、その売り上げだけで、何と年間売り上げ約30億円と。農協と行政が手を組んで一生懸命、ブランド化をして売り込んでるんですけども、その村長のお話を聞かせていただいたんですけども、結局、開発、開発というのをしていくのではなくて、自分とこの村を客観的に見つめて、一体何が一番その村に適しているのか、いいものは何なのか、この村に住んで良かったなと思うのは何やんかということを客観的に見つめて、ユズと森やと。ユズと森を売っていこうという形でやってらっしゃるんですね。

で、村長さんいわく、うちはユズだけを売ってるんじゃないんですと。ユズを通して村を売ってるんです。村を売ってるというのは変な言い方ですけども、コマーシャルしているわけですね。全国に発信しているわけですね。人口が1,074人と少ないので、活性化に不可欠なものとしては、交流人口やと。観光ですよね。いかに村に人を呼び込むかということを一生懸命言うてらっしゃいました。

林業と農業と観光というこの3本柱で、この村は馬路村ブランドをつくってらっしゃる

んですけども、「シャネル、ヴィトン、馬路村」というスローガンで、女性の方はシャネルもヴィトンもご存じやと思います、シャネル、ヴィトンの後ろに馬路村と来るんですよ。すごいなと私は思ったんですね。それはやっぱり、馬路村自体をブランド化しようという思いがすごく強いんですよ。日本国内だけでなく、世界に向けて発信していこうという、そういう意気込みがおりなんですよ。

何が言いたいかというと、結局、先ほど、午前中も市長が柿酢のことをおっしゃいましたが、柿酢を売るんじゃなくて、柿酢をつくっている橋本市を売らなあかんというふうに考えますので、やっぱり、あるものを有効に活用しながら、守りだけではなくて、どういうふうにメディアとかを使って攻めていくかということが、活性化につながっていくと思うんですけども、知恵をそこで出させていただいて、そういうふうに取り組んでいただきたいと思うんですね。

もう一つ、ちょっとご紹介したいんですけども、ここは特別村民制度というのがあります。特別村民制度に登録していらっしゃる方が2,700人いらっしゃるんですよ。全国です。村民が1,074人やのに、特別村民になっていらっしゃる方が2,700人。で、登録されて、何と426の方がこの村に遊びに来ていらっしゃるわけですよ。

それはどういうきっかけかというと、東京のあるデパートのワンフロアを借りて、馬路村フェアをやろうと行政が考えられて、デパートに交渉されて、デパートのワンフロアを馬路村にされたんだそうです。もう入ったら馬路村やという、そういう森とか川が流れているようなのをつくって、そこで「ごっくん馬路村」を売られたそうなんですけど、そのときに特別村民制度の登録というのをされて、東京でやられたそうなんですけど、そこで都

会の方が行きたいなど。こういう自然のいっぱいあるところに行ってユズジュースを飲みたいなと思われて、登録されて、登録しただけやったら効果がないからというので、特典をつけようというふうに行政の方が考えられて、特典というのが、馬路村に特別村民の方がいらっしゃったら、村長と村長室と一緒にごっくん馬路村を飲んでもらえる券というのを発行されたんだそうです。アイデアやと思うんですよ。お金かかってませんよね。あんまりね。村長と一緒に飲むために、馬路村に来たという方も何人もいらっしゃることなので、すごく知恵を絞ってらっしゃるんだなというふうに感じました。

温泉もあるらしいんですけども、リピーターがいっぱい来られて、何が言いたいかというと、その温泉なんです。温泉もバラ風呂というのを考案されて、女性客、女性に来てもらいたいということで、すごく山村の村なんですけども、お風呂をバラの花びらでいっぱいにしてるとか、そういう工夫をされているということですね。

だから、ぜひともやどり温泉旅行村、いいお湯が出るんですけども、コマーシャルと、今みんなは何を、いやし、とおっしゃってましたけども、いやしはどうしたらいやしになるのかと。ただ、ああ田舎に来たな、景色がきれいやなというだけでは、なかなか今、どこにでもありますので、ここに来ないとそれができないよというような、そういうアイデアをぜひとも出していただきたいと思います。

それとカバンがすごく、私、注目したんですけど、木でカバンをつくってらっしゃったんです。それを村長自ら肩にかけて、メーカーを通して売りに行くとか中間マージンとかとられるから、わしが実際にフランスまで行って、村の職員がフランスまで行ってバイヤーに売ってくるんですよ。そういうこともされ

てるわけですので、橋本にも大変良い産業と
いうか、地場産業ございますので、ぜひとも
工夫をしていただきたいと思います。

ちょっと長くなったんですけども、私、ぜ
ひともそれ、言いたかったの。一つの村で
一つの品物だけで売っていったらあかんで
いうふうに言っていっちゃいました。一村
多品でなくてはだめだと。これもある、これ
もある、これもあるというふうに売っていく
のが一番いいんだよということでございます
ので、橋本ブランドの構築というふうに部長
も言っていただきましたので、何かプロジェ
クトチームなりをつくっていただいて、アイ
デアを出していただけたらと思いますけども、
そのときには、ぜひともその中に女性を入
れていただけたらと思いますが、その辺、い
かがでしょう。

○議長（中上良隆君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）夢のある話を聞か
せていただきまして、本当にありがとうございます。
やどりにつきまして、先ほどご答
弁させていただきましたように、約20件近く
の、そういう関連施設を日曜、土曜と言わず、
課長以下職員が回りまして、支配人等の意見、
それから女性の意見を聞かせていただい
ております。やどりにつきましては、見てい
たらわかりますように、確かに道は不便で
ございますが、自然が最高のものでござい
ます。今、木を伐採いたしまして、もみじを植
林していく作業に取りかかっております。

この議会の経済建設委員会のほうへ、今度
ご報告申し上げて、ご説明させていただくこ
とになっておりますが、できるだけランニン
グコストのかからないような、またお客さま
に喜んでいただけるような、市民の方に喜ん
でいただけるような施設にしたいと考えてお
ります。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ありがとうございます。
経済建設委員会のほうでもご報告いただ
けるということでございますので、また、傍
聴のほうにもいかせていただきます。

ちょっと提案ばかりになって、大変申しわ
けないんですけども、観光案内所、今駅前
のほうに出していただけてますよね。橋本で、
私、高野口と合併させていただいて、一番知
らなかった点というのが再織だったんですよ。
私、ちょっと花粉症でさっきからずっとくし
ゃみばかりしてたんですけど、これ、ちょ
っと見てくださいね。男性の方はあまりご存
じないと思うんですが、これ、再織じゃ
ないんですよ。これはドイツ製のフェイラー
というメーカーのタオルのハンカチでござ
います。これは、百貨店でもうば一っとい
っぱいコーナーがあって、すごいたくさん
売ってるんですよ。これ、ちょっと私ファン
でして、たくさん買い込んでおったんです
けども、何とこれが、高野口にあるん
ですよ。これは高野口の再織でつくった
ティッシュペーパー入れ。これは22番
議員にお借りしたんですが、私も持
ってるんですけど、ちょっときょう持
ってきませんでしたので、ペンケース
でござい

これは絶対売れますよ。売れます。まあ
売ってるんですけど、ぜひ玄関口の観
光案内所で売っていただきたいと思
うんですよ。全然遜色ないんですよ。
橋本のブランドなので、フェイラー
は結構有名ですので、和歌山のフ
ェイラーと、日本のフェイラーとい
うような形で、ぜひ売っていただ
きたいというのと、その体験を、
再織の体験、私、新人議員研修
のときにさせていただいたんです
が、あれも、自分でこんなハンカ
チが織れるとなったら、リピー
ターが来ますよね。次やろうとい
うふうに。だから、できるだけ今、
立ち寄りどころさんでもやって
いただけてますけども、そ

ういう資源を生かしていただいて、駅前にそういう体験コーナーとか、それから物品も、こういうのをどんどん売っていただいて、少しでも立ち寄っていただいて、買っていただけるようにという、そういう工夫をぜひともしていただきたいんですけど、いかがでしょう。

○議長（中上良隆君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）ありがとうございます。この再織のハンカチ、それからマフラー、名刺入れ、カバン、さまざまなものが、今ITの交流センターのほうで販売されております。これは高野口の特産でして、これも駅前の観光案内所で販売していくという予定でございます。全国の皆さんに知っていただきたいという思いで、展示もさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ぜひともよろしくお願いいたします。

済みません、ここでもう一点だけ。これ、ご存じですかね。さんまのスーパーからくりテレビって、皆さんご覧になったことありますか。きのうの夜の日曜日の7時に、毎日テレビで放送されてたんですけども、そこで、サザンオールスターズをもじったサザエオールスターズというのがあるんですよ。そうそう、楽団です。という企画。これは小倉優子さん、ゆうこりんが座長みたいになって、何人も芸能人が楽団を率いていろんな歌を歌っているんですけども、これは地方を元気にする企画という、テレビ局が企画しております、商工会単位とか、行政も含めてですけども申し込んで、うちの商店街でぜひ来てよということで、その楽団が、サザエオールスターズさんが来てくれると。ちょっとどこの地方か私、メモらなかったのでも忘れたんですけども、2,000人の人が来たというのがやってた

ので、こういうのもちょっとまた部長、調べていただいて、市の持ち出ししないんですよ。申し込むだけなんですよ。うちはこういうことをやってますと。商工会でこういう元気ないので、元気になってほしいんやということで申し込んでいただくだけで、抽選か何かあるか知りませんが、来てくれますので、ぜひとも、ちょっと調べてください。お願いします。

それでは、2番目の質問に入らせていただきます。市民会館、いろいろ老朽化等叫ばれておりますけども、先ほど教育次長のご答弁ございました。そうなんですよ。橋本市には、すばらしいピアノがあるんです。ごめんなさい。済みません。市民会館は総務部長でございます。総務部長。すばらしいピアノがあるんですね。スタインウェイ。ちょっと私のはっきりはわからないんですが、たしか1,800万円程度するということに聞いたんですが。当時、塙坂市長のときにご購入されたというふうに、橋本市のこれは文化ですよ。値段はまあまあ、1,800万円ぐらいですか。ちょっとご答弁お願いします。

○議長（中上良隆君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）先ほどのご質問の中で一点だけ、このものにつきましては、平成6年当時に起案の書類が出てきておまして、ピアノの備品購入費といたしまして、主要施策の数字では1,875万8,772円ということで金額になっております。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ありがとうございます。これ、大変価値があると思います。橋本市にスタインウェイがあるんやということを知らしめるだけでね。知らん人多いんですよ。多いと思う。ほとんど知ってらっしゃらない。音楽関係の方はご存じやと思うんですけども、私は体育会系でしたので、音楽はし

ておりませんでしたので知らなかったんですけども、これ、橋本市の財産でございますので、文化の象徴でございますので、ぜひとも有効に活用していただきたい。

有効に活用するよというということで、先ほどご答弁いただきましたけども、ええピアノやから、ほかの市町村は、持っているもあまり一般の方には弾かせないというふうにお聞きしております。中村絃子さんとかあいう有名な、中村絃子さん、橋本にも来られましたけども、中村絃子さんとかレベルの方でないと、弾きこなせないということなんですけども、ちょっとスタインウェイ、私調べましたら、置いておだけよりは、ニューヨークスタインウェイとハンブルグスタインウェイというのがあるらしいんですけども、もし橋本市のものがハンブルグスタインウェイであるならば、弾き込むことにより円熟した音色へと育つと。育つピアノでございます。置いておくだけではもったいない。どんどんこれは活用していただいて、橋本市にスタインウェイがあるんやぞと。音楽やっている人、どんどん橋本市のこのホールを借りて、音楽会をしましょうと。小さい子どもさんにも弾かせてあげたいですね。橋本市の財産なのでね。

私、ピアノ弾きませんのでちょっとわかりませんが、やっぱり全然重さとか、音色が違うんでしょうね。管理は大変やと思いますわ。湿度とか、それから温度とかをきっちり24時間管理しておかないと、はがれてきたりすると思いますけども、ぜひとも市民の方に知っていただいて、それを活用できるように知恵を絞っていただきたいんですが、具体的にまだあまり決まってませんか。何時間いくらか貸すとかというようなことは。もし決まっておりますらご答弁いただきたいと思ひます。

○議長（中上良隆君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）まず一点、先ほど私答弁させていただいた中で、説明不足の点、再度ご答弁させていただきます。

主要施策の中では、備品購入としまして金額は1,875万8,772円ということで、備考欄にスタインウェイグランドピアノ、それから音響反射板等となつてございますので、その点失礼しました。込みでございます。

それから、今ご答弁させていただきましたが、高価なピアノでございますので、これを利用していくということにつきましては、今後、答弁どおり検討に入つていただく形になっておるんですが、ただ、今後どういう形で、どの方々に利用していただけるのかということについては、ちょっとまだ今の段階では決まっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）大変貴重なピアノでございますので、その辺のところを十分に、専門家等とも入つていただいて、ご検討していただいて、貴重な財産を有効に活用していただきたいと思いますと思ひます。

最後、運動公園、多目的グラウンドの活用についてでございます。済みません、教育次長。平成9年の4月にオープンされたということなんですけども、これ、芝生ですよ、運動公園。この芝生は多目的グラウンドというぐらいですから、いろんな活用方法を考えたらっしゃると思ひますけれども、芝生造成中につき、中には入らないでくださいというような立て札がありますね。芝生はやっぱり造成中に踏んでしまうと、芽が成長しないということもあるかと思ひますけども、これ、コンサートとかには使えるんですかね。ちょっとその辺、お教へいただきたいと思ひます。

○議長（中上良隆君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）今ご指摘のように、芝生の保存については、ある程度芝生の状態というか、保存の期間が要ると聞いております。今おっしゃったコンサート、野外コンサートを言っておると思うんですけども、そういった部分の検討も今後加えたいと思っております。

以上です。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ありがとうございます。ということは、できますよと。野外コンサートでも開けますよということですね。別に規制はないわけですね。

○議長（中上良隆君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）地域活性化のために、ぜひとも積極的にそういった部分の検討も加えたいと思っております。

以上です。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ありがとうございます。

昨年の9月に紀三井寺球場、陸上競技場、これは県の施設なんですけど、コブクロさんってご存じですかね。歌手の。コブクロさんが10周年記念コンサートをされております。なんと2万5,000人来場でございます。第一種認定の陸上競技場でございますので、ここは大変、ちょっとこういう写真ももらってきたんですけども、ここも芝生なんです。芝生と周りにずーっと観客席があって、2万5,000人来場されたというんですね。チケット買って買ってと言わなくても、一瞬のうちにネット販売だけで完売ということで、すごく大盛況で成功裏に終わったというような情報も入っております。2万5,000人全国から来られるということは、本当に地域の活性化に効果がある。交流人口が増えるということでござ

いますので、ぜひとも私は、こういうコンサートをやっていただきたいと思うんですね。

知り合いがたまたまその運動公園のほうに来まして、橋本市在住じゃないんですけども、運動公園をテニスコートのところから見まして、ここやったらすばらしいコンサートができるなあというように言ってくれたんですよ。私たちは発想が、私は貧弱やったんか知らないんですけども、運動公園、多目的グラウンドいうたら、運動しかでけへんかなと思ってるんですけども、コンサートができるわけですね。で、雨は、とか思いますやんか。雨はとか、椅子はとか思うけど、雨も関係ないんです。椅子も関係ないんです。みんな座らないんですよ。野外コンサートに行くと、立ったままなんです。雨降っても土砂降りの中で、雨を覚悟でアーティストもやるし、見るほうも雨でも見るんですよ。

だから、せっかくいいグラウンド、いい多目的競技場があるので、ぜひとも橋本市をアピールするということでも、野外コンサートを開きたいというふうに私は思うんですけども、アーティストは、たまたま紀三井寺球場は、コブクロさんがずっと和歌山で毎年コンサートをされてて、10周年記念なので、ぜひとも紀三井寺球場でやりたい、陸上競技場でやりたいという熱い思いがあったから実現したというのが事実なんですけども、橋本市は、何回も言いますが、電車で40分で大阪から、難波から来れますよね。交通の便利はものすごくいいんですよ。たぶん、和歌山市よりもいいんじゃないのかな。紀三井寺球場よりはいいんじゃないのかなと思います。

だから、駐車場もたくさんありますし、ぜひともやろうという意気込みで、さっきの話にもあったように、守りの姿勢ではなく売り込んでいくと。橋本市を売り込んでいくという、そういう意気込みで取り組んでいただき

たいと思うんですけども、市長、もしそういう、私ちょっと知り合いにビーズの関係者がおりまして、ビーズってご存じですかね。歌手。ビーズの関係者がおりまして、連絡をとったんですよ。コブクロさんが来たらビーズも来てくれるかと思って。ほんならまあ、とりあえずちょっと資料送ってよという話になってるんですけども、市長、市長がやっぱり橋本市に来てよという、そういう意気込みがあって、やろうぜというそういう思いがあったら、来てくれるかもしれない。

可能性ですよ、それは。でも、だめもとでやったらいいですよ。お金かかりませんやんか。東京来いというわけやないから、お手紙の一つでも市長、したためていただいて、一市議員が言うよりは、橋本市長、木下善之という形でアピールしていただいたら、絶対「お、市長さんが。」という思いが、アーティストもあると思うんですよ。その辺のところ、どうですか。資料を送ってくれと言われてるので、資料を送ろうと思うんですけども、もし市長が、よっしゃ、ほな私も一筆書いたるぞと。賛成やと。土井さんの意見に賛成やという思いがあったらね。どうですか、その辺。市長からの手紙ですね。市長への手紙じゃなくて。ちょっと市長、ご答弁、最後をお願いします。

○議長（中上良隆君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）大きなビジョンといいますか、夢を持たれて、さすがに若さやなということを感じたわけであります。本当に、ピアノのお話もございました。この間、あのピアノで安田さんが弾かれて、ずっとこうやってましたね。あれ、私も感銘したわけでありますが、きょうのお話では、運動公園の問題ですが、非常におかげさんで、芝も大分育って具合ようになっておるんですが、一部、や

はり排水が悪いので、大分ちょっとやりかえないかんかというところも見受けるわけでございますけども。

さて、紀三井寺で2万5,000人ぐらいのということだったら、こっちは5万人、倍ぐらいの人を全国から寄せてということは、これはもう一つの夢かわからんと思うんです。野外コンサート、昨年度、紀の川祭に坂本冬美歌手が来ていただいただけでも、非常に今年の紀の川祭はだれ来るんでというところまで、そういう期待を皆さん持たれて、燃えておるわけですね。非常にいいと思うんです。体育館でも3,000人や4,000人入って、そういうコンサートやそれに類するものが展開できるかもわかりませんし、ひとつ一回これ、プロジェクトチームをつくりまして、これを土井議員中心になっていただいて、ひとつぱっと大きな花火を上げて、野外コンサートなんかやっていくということは、橋本市のPRにもなりますし、非常に意義があると思います。

ただ、市民会館の問題で、私も橋本市文化スポーツ振興公社のほうへ大分お話がしておるんですが、興行をいろいろ、もっと平日もやりなさいよということをいろいろ申し上げておるんです。ところが、平日は駐車場がないので、こちらは全然だめと言われるんですよ。苦情が多くて。せっかく高野口の産業文化会館あたりが適当かもわかりませんが、平日の興行というか、給付金もいただけることやから、ひとつそういうなのもやって、心持ちを大きな変え方をしていくことが非常にいいと思います。今後、そういうことをそうしてやる限りは、一過性というんやなしに、やはり毎年時期を見て、きちっとやっていくように、そういうようなことも一回前向きに考えてみたいと思いますので、そうなりますと議員の皆さんも総力を挙げて、ひとつバックアップをいただきますようにも、あわせて

お願いしておきます。

よろしくお願いしておきます。

○議長（中上良隆君）14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）ありがとうございます。市長、手紙書いていただけますか。ありがとうございます。大変いい、夢ではなく、ぜひとも夢を持って実現に向けて取り組んでいきたいと思いますので、またよろしく願いしたいと思います。

これで私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（中上良隆君）これをもって、14番 土井君の一般質問は終わりました。

○議長（中上良隆君）お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会し、明3月10日午前9時30分から会議を開くことにいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

本日は、これにて延会いたします。

ご苦労さんでございました。

（午後4時38分 延会）